

秋～冬に流行する 感染性胃腸炎(ノロウイルス)への対策



流行時期

- ・ 1年を通して発生
- ・ **秋から冬にかけて急増**
- ・ 保育施設や高齢者施設など、
施設での集団感染が多くみられる

症状

- ・ 吐き気、嘔吐、下痢、発熱、腹痛
- ・ 通常1～2日でおさまる
- ・ 乳幼児や高齢者では、**脱水症状や重症化**することがある

感染経路

①人から人への感染

- ・ 患者の便や嘔吐物を触れた手や嘔吐物の飛沫から感染

②汚染された水、食品からの感染

- ・ 多いのは、貝類によるもの
- ・ 汚染された二枚貝を生または十分加熱せず食べた場合に感染



感染から身を守るために、できること



石けんと流水による手洗い

(手を洗うタイミング)

調理の前、食事の前、トイレの後、汚物処理やオムツ交換を行った後など



嘔吐物や便の適切な処理

- ①使い捨てのガウン、マスク、手袋を着用し、ペーパータオルで静かにふき取る
- ②次亜塩素酸ナトリウムや亜塩素酸水で床をふき取り、その後水拭き
- ③十分に換気
- ④おむつや使用したペーパータオル等は、ビニール袋に密閉して廃棄



食品の加熱

- ・ 食品は、中心部が85℃以上で、90秒以上加熱
- ・ 調理器具は、85度以上の熱湯で1分以上の加熱や次亜塩素酸ナトリウムで殺菌

詳しくは

ノロウイルスに関するQ&A (厚労省)

検索



【発行元】令和7年9月18日
香川県インフルエンザ・感染性胃腸炎
対策連絡会